
譲れないもの

サダコレ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

譲れないもの

【著者名】

N1453D

【作者名】 サダコ

【あらすじ】

偶然スーパーの店員に出来わした僕。そこには新しい世界が！

(前書き)

いや、わしにもわからん

「この世に意味の無い人間なんていないんだよ。」

スーパーの店員がそつと僕に囁いた。

・・・・・・・・・・・・・・・

「え？なんですか？」僕が聞き返すと店員は、：

「もし仮にだよ？焼いたはずのお好み焼きが臭かつたらどうする？」

「…？」

「次のお客様どうぞ。」

その場の会話はそれで終了した。

翌日あの店員が気になり、そのスーパーに顔を出すと、

「いらっしゃいませ～！毎日当店のご利用ありがとうございます、お前みたいなもんが～」

と言われた。僕は少し嬉しかった。何故なら僕は人に本氣で叱られたことがない。両親も僕なんか見て見ぬふりだ。

僕は泣きながら、

「ありがとうございます！僕、なんか頑張れそうな気がします！」

店員は一呼吸置いて僕に語りかける。

「しね～～

ゾクゾクするじゃないか

噛めば噛むほど食べやすい。

ポテチは本当にあつたんだ！！父さんは嘘つきなんかじゃなかつた！家に帰り洗濯機をまわす。

「もう冬だな～。そういうばもうすぐクリスマスじゃん！？」

僕はハゲています。

だが必ずしもそれが裏目でるとは…。

僕が同窓会にいけない理由があるとすれば、それは僕がマツスル香織のスピードについていけないからかもしだへんのや～。

堪忍や～堪忍やで～・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

譲れないもの、あなたにはありますか？

(後書き)

ほんまにわからん。わからんのだよ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1453d/>

譲れないもの

2010年11月26日06時47分発行